



第4回学校運営協議会 次年度教育ビジョンの承認 「挑戦する子」

日時：令和8年2月13日（金）15：00～16：30
会場：たけのこルーム

報告事項

◆ 後期学校評価について

12月の児童アンケートの肯定的評価

- 「高める」・難しくても失敗をおそれずに挑戦している 89%
- 「認める」・自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり大切にしたりしている 95%
- 「深める」・学ぶことが楽しい 83%
- 「その他」・本を読むことが好き。 79%

児童の解決したいという学習課題の設定を意識して取り組んできました。今後も個に応じた目標設定と振り返りの場を大切にして支援していきたい。

◆ 地域と学校パートナーシップ事業

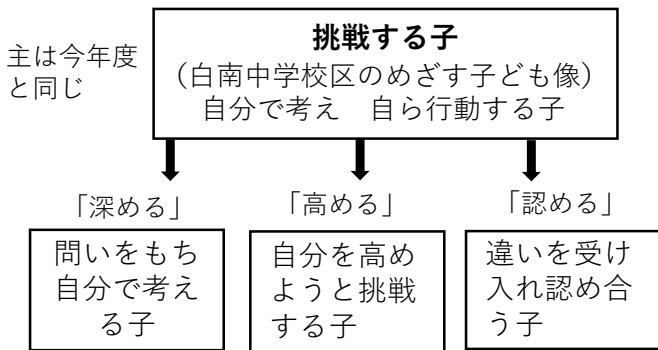
・ボランティア活動について

今年度も保護者や地域の皆様からたくさんのご協力を頂いて感謝している。ボランティア延べ人数743人、実人数203人という結果であった。CSと一体となり6年生を交えての哲学対話など新しい取り組みもあった。今後も持続可能な活動にしていけるためにネットワークを継続・拡充していきたい。

協議事項

◆ 次年度学校運営の提案

◆ 参加者からのご意見・質問



「挑戦は宝物」「見通しをもつ」→「行動に移す」→「振り返り」により良さを実感する指導を継続していく。学校は「全ての人と同じだけ大切だということ」を学ぶところである。違いを尊重する対等な集団形成に力を入れていきたい。

総合的な学習の充実

これまでの学習の継続と質の向上
単元構成の工夫

特別活動の充実

子どもが主体となる学級活動

PTAとの連携

PTAが活動の主体となる子ども大風合戦等保護者とのつながりを深めていく

白南未来図の実現に向けてこれからやらなければいけないことなども考えていきたい。

- ・学校評価アンケートの中で「あまりあてはまらない」と回答している子が一定数いるのが気になる。他者に対して認め合うことも大切だが、他者と違う自分を認めてあげると意識も大事だと思う。マイナスにとらえている子も大切にしてほしい。
- 外側から見ているとそうじゃないと思うのに「あてはまらない」を選ぶ子がいる。「尊重と対等」を意識させ自分はこれでいいと思えるように支援していきたい。
- ・自分を出す子とそうじゃない子の差が大きいように思う。挑戦したいと思わない子がそう思えるような言葉をビジョンに入れていったほうがいい。
- ・保護者アンケートの「子どもが教育ビジョンを意識しているか」の値が低い。(あまりしていない 45%)保護者自身が教育ビジョンを分かっていないののではないか。文字数を増やしたり語尾を子どもの視点にしたりと分かり易い表記にした方がよい。
- これまでの取組で子どもたちが変わり始めている。今までのよい流れを保ちながら次へ進めていきたい。具体的な子ども向けの文言は、子どもと一緒に考えていくのも意識付けできていいと思う。学校便りやPTA総会などで提案していきたい。

(委員による学習参観)



- ・3小学校の合併に向けて教育ビジョンも同じ方向性にしてほしい。
- ・小中一貫教育を目指した3小学校統合校は令和12年度開校の予定である。さらにはしるね南会でもそれに向けて準備をしていかなければならないであろうし、閉校に向けての準備も必要となる。